

俳優・高橋英樹さん



NHK教育テレビの「芸能きわみ堂」に出演する高橋英樹さん



ある今治城にて。高橋英樹さんはお城好き。石垣も有名です

「なんでもっと早く私を呼ばないんだ、遅いよ」と思いましたね(笑)。

——古典芸能に興味を持たれたきっかけなどはあったのでしょうか。
高橋 50年以上前になりましたが、活の任侠映画に出るようになりますが、日物の着方などを学ぶために、着修業するようになつてからです。松緑先生からは「まず自分一人で着物を着て、たためるようになって死におほえさい」と言われまして、踊や歌舞伎についても勉強するようです。着物は今でも大好きで

す。衣装合わせのときも、普通は衣装部さんが何本か選んだ中から「どれにしますか?」と聞かれるので行くんです。それに着るのも早いは、今でも自分の基本になっていきますね。

——歴史エンターテインメント番組「日本最強の城」(NHKテレビ)では、お城の魅力について熱く語る姿が印象的でした。
高橋 お城に限らず、お寺や神社などの古い建物は子どもの頃から好きでした。ただ、本格的に好きになったのは、時代劇をやるようになってからです



ちよつとおそばに...

シリーズ135

俳優
高橋 英樹さん

古典芸能や城など 古いものに親しむ

1944年(昭和19)2月、千葉県木更津市生まれ。1961年(昭和36)、17歳で日活に入社。日本映画の黄金期に活躍した。1968年(昭和43)、NHK大河ドラマ「竜馬がゆく」で時代劇に初出演。「竜馬がゆく」「国盗り物語」「桃太郎侍」「三匹が斬る!」などに出演し、その後もターとしての地位を確立。近年はバラエティ番組などにも数多く出演している。

——ここ数年は、日本の古典芸能をテーマにした教養番組「芸能きわみ堂」(NHK教育テレビ)で博識ぶりが話題です。前身番組にあたる「ニッポンの芸能」から数えますと、すでに3年以上も司会として活躍されていますね。
高橋 私は趣味が非常に多いのですが、古典芸能もその一つです。とてめえがたいことに、昔から伝統に携わってきた方たちのお稽古の凄さですとか、これまで相当古いという経験がとてめえ役立っています。ですから最初にオファーが来たとき